

SEO・WEBマーケティング の話題

Date 2024年2月

目次

- ▶ 1. Googleビジネスプロフィールで作成したサイトは2024年3月1日に終了
- ▶ 2. Google検索のスニペット生成の主要なソースはページ上のコンテンツ
- ▶ 3. コンテンツ著者の署名をランキング要因には使っていない、Googleが否定
- ▶ 4. 動画がメインコンテンツじゃないと動画検索には表示されなくなる

① Googleビジネスプロフィールで作成したサイトは 2024年3月1日に終了

Google ビジネス プロフィールで作成したウェブサイトの提供が 2024 年 3 月 1 日をもって終了します。

Google から閉鎖のお知らせ

簡易的なウェブサイトを Google ビジネスプロフィールで作成できるウェブサイトビルダーは 2017 年 6 月にリリースされました。

この**ウェブサイトビルダーで作成したサイトがまもなく利用できなくなります。**

利用できなくなるサイト : Google ビジネスプロフィールで作成したサイト

引き続き利用できるサイト : **独自のドメインを取得**し、Wix、Squarespace、GoDaddy、Google サイト、Shopify、WordPress などのツールで作成されたサイト

※サービス提供終了は次の 2 ステップで進みます。

1. 2024 年 3 月 1 日 : ウェブサイトにアクセスすると GPB にリダイレクト

2. 2024 年 6 月 10 日 : リダイレクト終了、サイトを利用できないメッセージを表示

②Google検索のスニペット生成の主要なソースは ページ上のコンテンツ

Google は検索結果のスニペットを管理する方法を説明するドキュメントを更新しました。主に、ページ内のコンテンツをもとにスニペットが生成されることを明確にしました。

**スニペットは meta description ではなく
ページ内コンテンツから作られる**

Google は、適切なスニペットを自動的に判断するために、各ページのメタ ディスクリプション タグ内の説明情報など、さまざまなソースを使用しています。また、ページ上の情報を使用する場合や、ページ上のマークアップやコンテンツに応じてリッチリザルトを作成する場合があります。

Google は主に**ページ上のコンテンツを使って、適切なスニペットを自動的に決定します**。また、メタ ディスクリプション要素にある説明的な情報が、コンテンツの他の部分よりもページの内容をよく表している場合は、それを使用することもあります。

ページ上のコンテンツが主要ソースであると読み取れます。
meta description がページ上のコンテンツよりも適していると判断したなら、meta description が使われます。

② Google検索のスニペット生成の主要なソースは ページ上のコンテンツ

スニペットは meta description ではなく
ページ内コンテンツから作られる

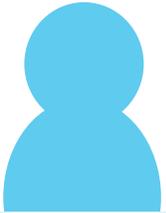
スニペットの生成プロセスに記述も削除され、下記の記述に変更されていました。

サイト所有者は、主に2つの方法で、Googleが生成するスニペットに対してコンテンツを提案できます。

- **リッチリザルト**: 構造化データをサイトに追加すると、Googleがページの内容（レビュー、レシピ、ビジネス、イベントなど）を把握しやすくなります。リッチリザルトによって検索結果でのサイトのリスティングが向上する仕組みについてはこちらの詳細をご覧ください。
- **メタディスクリプションタグ**: Googleでは、ページコンテンツから直接取得できる情報よりもページの概要をユーザーに正確に説明できると判断した場合、タグのコンテンツを使用してスニペットを生成することがあります。

③コンテンツ著者の署名をランキング要因には使っていない Googleが否定

The Verge がSEO を非難する記事を公開したことに対し、Google の Danny Sullivan (ダニー・サリバン) 氏は、X の Search Liason アカウントを介してこのようにコメントしました。



ダニー・サリバン氏

署名や経歴、資格などコンテンツ著者のプロフィールをランキング要因としては利用していない。

Google 検索リエゾン 
@searchliaison

著者の署名は Google のために行うものではなく、ランキングの向上に役立たないものです。それらは読者のために行うものであり、そのようなことをしている出版物は、私たちのランキングシステムが有用なコンテンツと一致すると判断する他のタイプの特徴を示すかもしれません。これは、以前、The Vergeの編集長にも伝えたことがある(それについて尋ねる人なら誰にでも)。それはまだ事実のままです: ...

[ポストを翻訳](#)

If you're a regular reader of *The Verge*, you might have noticed some changes to our author bylines in recent months: they're a lot longer, with more details, name-dropping, and quantifying our professional experiences. You can thank Google for that.

Google 検索リエゾン 
@searchliaison

署名を追加するだけでは、ランキングは上がりません。また、署名欄やその付近の情報を読んで、「ああ、専門家だと言っているのだから、これは専門家が書いているに違いない」と考えることもありません。それがどれほど信頼できないかを考えると、それは意味がありません。しかし、正確な署名と正確な情報を持つことは、質の高いコンテンツが行うことの1つであり、質の高いコンテンツについて理解するために使用するまったく異なるシグナルと一致している可能性があります。また、署名がなくても上位に表示されるコンテンツもたくさんあります。

Google公式アカウント
日本語訳

③コンテンツ著者の署名をランキング要因には使っていない Googleが否定

公式による見解のまとめ

- 著者の資格や署名をランキング目的で Google はチェックしていない
- 署名は直接的にランキングを向上させない
- 署名は読者のためであり、検索エンジンのためではない
- 質の高いコンテンツは正確な署名を持つことがあるが、それはランキングが向上する理由ではない

③コンテンツ著者の署名をランキング要因には使っていない Googleが否定

著者署名を充実させた例

ニューヨーク・タイムズは、ジャーナリストの専門性や倫理観を強調し、読者との信頼を築くために、記事執筆者のプロフィールを充実させたと発表しました。

刷新した執筆者プロフィールを「**Enhanced Bio**」と名付けています。

Enhanced Bio は、ジャーナリストの経験と専門性、倫理観を強調することが目的です。SEO 的に言い換えれば、コンテンツ著者の E-E-A-T を証明する手段と言えます。コンテンツ著者のプロフィールを掲載したからといって、それだけで Google の評価が上がることはありませんが、読者との信頼を築くために次のような取り組みと言えるでしょう。

④ 動画がメインコンテンツじゃないと動画検索には表示されなくなる

動画検索の対象となる動画ページをGoogleが変更しました。
動画がページのメインコンテンツである場合にのみ検索結果に出てきます。

今後、動画を補助的なコンテンツとして掲載しているページは動画検索には出てこなくなります。

「補助的な役割」とは、たとえば、次のようなページの場合です。

- 動画がページの主なコンテンツではなくテキストを補完するものである
ブログ投稿
- 補完的な動画を含む商品の詳細ページ
- 複数の動画を同等の視認性で一覧表示している動画カテゴリページ

ページのメインコンテンツではない動画がある場合は、
Search Consoleの動画インデックスレポートに「インデックス登録された動画はありません」と表示されます。

ホームページからなぜお客様がこないのか **無料で診断・相談**ができます

Webサイトで集客
したいけれど、
Webマーケティング
会社の実力が解
らなくて不安...

Webマーケティング
会社がどのよう
なことをやってく
れるのか、実力が
知りたい

「絶対成功する
か」と聞いても
「絶対はありません」と言われて、
益々混乱してくる

- ✓ 私たちがあなたのサイトのどこを修正しようとしているのか？
- ✓ どんなWeb施策をしようとしているのか？

無料でお伝えします！

**ぜひ無料相談を
お試してください！**



会社概要

企業名	株式会社バリューエージェント
所在地	大阪府大阪市淀川区西中島3-9-12 空研ビル5F
代表取締役	上野山 光雄
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ WEBマーケティングアウトソーシング事業<ul style="list-style-type: none">・ マーケティング戦略設計・ サイト制作/運用改善・ インターネット広告運用・ SEO/コンテンツマーケティング・ WEB解析/コンサルティング■ IT導入支援
URL	https://valueagent.co.jp/
メール	web-info@valueagent.co.jp
電話番号	06-4805-7778（無料相談受付中）



VALUE AGENT

株式会社バリューエージェント

TEL/06-4805-7778

お問い合わせ

